

普及活動情勢報告

情勢報告（平成23年12月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

情勢報告

ニラの一生について紹介しました

～高知野菜出前授業～



11月29日と30日に大阪の小学校2校で、小学5年生150人を対象に、ニラの出前授業を実施しました。

普及所から、高知県の農業の概要やニラが畑でどのように生育しているかの説明をした後、生産者から、ニラ農家の生活、ニラを作る上での苦労や工夫していることについて説明しました。

児童は、ニラが1作に7回収穫できることや朝早くから収穫作業をしていることなどに驚きながら、最後まで楽しく授業を聞いてくれました。

京都で四万十町の魅力を伝えました

～特産野菜等コラボレーション事業～



12月3～4日に京都府の量販店で、販売促進活動（四万十フェア）を行いました。

農産物の販売だけではなく、四万十町の道の駅「あぐり窪川」・四万十町役場・観光協会とコラボレーションし、豚まんやカレーパンなどの加工品、十和の原木しいたけの販売、観光パンフレットの配布をして、四万十町の魅力を宣伝しました。

野菜は、JA四万十のピーマン、水耕セリ、ミョウガ、ショウガ、ミネラル栽培ニラを販売しました。セリとニラは、生産者が試食販売をしながら、消費者へ「ニラは炒め物のイメージがあるが、白和えにしてもおいしい」など食べ方のアドバイスもしました。

協力してくれた市場担当者からは「よい試み、1回限りではなくぜひ毎年やってほしい」という反応もあり、来年以降も実現できるよう検討していきます。

「こんな小枝の中に虫の卵が！切っちゃかないかん」四万十の栗再生プロジェクト剪定講習会



12月14日～20日の7日間、西土佐、十和、大正会場に、岐阜県から講師を招いて剪定講習会が開催されました。

今年で3年目の取り組みになり、初回からの参加者は理解が深まって自分で剪定できる人も増えました。

講師からは、チェーンソーの安全な使い方や病害虫の耕種的防除等、篤農家ならではのきめ細かい指導を受けました。

普及所では、できるだけ多くの園地で低樹高剪定が導入できるよう、傾斜地向き四万十方式整枝を検討しています。

アスパラガスの安定生産と所得向上を目指して

～高知県アスパラガス研究会～



12月22日、高知県アスパラガス研究会の総会・研修会が農業技術センターで開催されました。会場には県内各地から生産者、J A、園芸連、全農、県関係者など約30名が参加しました。

研修会では、高南農業改良普及所から県内におけるアスパラガスの課題についての発表と佐賀県の篤農家の講演を行いました。講演では、連年反収5t取りで安定生産している取り組みについて、土づくりの大切さや排水対策などの経験に基づいた話があり、講演後のディスカッションで参加者からは、立茎管理や肥培管理などの質問が多く出され研鑽が図られました。

普及所は、今後も産地化と栽培技術向上のため、関係機関とともに研究会活動を支援していきます。